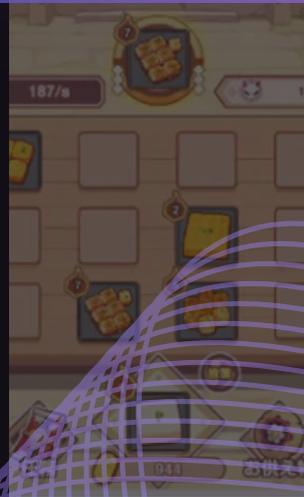




GUILD QB Q2 REPORT



免責事項

このレポートは、GuildQBの活動と業績の概要を提供することを目的としていません。情報の正確性、完全性、信頼性、及びタイムリーさについては、最大限の配慮を行っていますが、その保証はできかねます。また本レポートに掲載された情報は、予告なしに変更されることがあります。

本レポートを基にした行動や判断について、GuildQBは責任を負いません。また、レポートに記載された情報や見解は、GuildQBの公式見解や立場を示すものではなく、情報提供を目的としたものに過ぎません。そのため、投資や取引、その他の決定を行う際には、本レポートの情報だけに頼らず、独自のリサーチや判断を行ってください。

さらに本レポートで引用されている第三者の情報や意見については、その正確性や信頼性を保証するものではありません。その内容に関して、GuildQBは一切の責任を負いません。

最後に、本レポートに記載された情報や見解が、将来の業績や価値を予測するものではなく、過去の成果を保証するものでもないことを強調いたします。



レポート概要

2025年Q2においてGuildQBは、市場環境の変化に適応しながら、プロダクト開発とコミュニティ活動を継続しました。

製品開発

GQBロック付きステーキング機能を正式リリースし、ユーザーにより高いリターンと多様なメリットを提供開始。しかし、QB Gold Rushにおいて重大なシステム不具合が発生し、現在サービス停止中。

コミュニティ活動

週刊ラジオ番組（第17回～第28回）を通じて仮想通貨市場の最新情報を発信。月次ホルダーVCの継続実施により、コミュニティとの密な連携を維持。

パートナーシップ

Uzumaki Houseのスポンサーシップ、イナズマ・キャピタルとの業務提携により、リサーチ力の強化と新たな事業機会の創出を実現。

マーケット実績

如月NFTフロア価格は市場調整により下落したものの、定期的なフロアスイープにより0.04ETH水準で安定維持。GQBトークンは新機能によりユーティリティを拡大中。

フ ァ ウ ン ダ ー & C E O コ メ ン ト

Founder
KEISUKE HORIGUCHI



2025年Q2(4~6月)は4月にBTCが74,000ドル台まで落ち込むも、世界中の上場企業による投資過熱もあり顕著に価格を戻しました。

対して、しばらくはETH以下アルトコインは影を潜め、年始のTRUMPコイン暴落からほとんどが下落傾向にありました。

少なからず我々も影響を受け、プラットフォームの要であるローンチパッドへ新規有望プロジェクトをリストすることは出来ない状況に陥ったこともあり、トークン価格が下落しました。

しかし、Q3に入りETHが上向きだしたことで来たるQ4での飛躍に向け着々と準備を進めています。

ロードマップ通りいかないことも多いですが、これまで何度かこの市場サイクルを経験してきた私にとっては大きく成長する前の必ずやってくる壁と捉えており、次のアップデートにご期待いただければ幸いです。

KISARAGI NFT

2025年Q2における如月NFTの市場実績は以下の通りです：

月	フロア価格 (ETH)	ホルダー数 (人)	取引数
4月	0.055	884	8
5月	0.032	881	5
6月	0.0194	876	14

如月NFTは引き続きGuildQBコミュニティの中核的な役割を果たしています。NFT保有者は毎月第2月曜日のホルダー限定VCに参加でき、GuildQBの最新情報を優先的に入手できます。

7月1日には一時的に0.0194ETHまで下落しましたが、後日フロアスイープの実施により0.04ETHまで価格回復を実現しました。KISARAGI NFTローンチ以降、定期的なフロアスイープの実施により0.04ETHの価格水準を安定的に維持しています。

NFT市場全体の価格下落トレンドが続く中、3年半以上にわたってこの価格を維持していることは、プロジェクトの堅実な運営体制を示す重要な実績として評価されます。Q3以降では新たなユーティリティ機能の追加により、NFT価値のさらなる向上を計画しています。

また、ホルダーVCでは定期的にGiveawayキャンペーンが実施されており、コミュニティメンバーにインセンティブを提供しています。



GQB トークン

2025年Q2におけるGQBトークンの価格推移：

日付	トークン価格 (\$)	前回比変動率
2025年4月4日	0.002576	-
2025年5月1日	0.001895	-26.40%
2025年5月31日	0.001093	-42.30%
2025年7月1日	0.000315	-71.20%

2025年Q2時点でアルトコイン市場は全体的に低迷が継続しており、年初来でプラス圏に転じたトークンは全体の30-40銘柄程度に限定されています。この市場状況を分析した結果、短期的な価格維持施策よりも中長期的な価値創出戦略への資源集中が最適と判断しました。ビットコインは機関投資家による継続的な需要により価格を維持している一方、アルトコイン領域では構造的な調整局面が続いています。

上記市場分析に基づきユーザーベース拡大を目的とした新規プロジェクトの開発に着手しています。海外パートナーとの提携により著名漫画IPキャラクターの権利取得が完了し、既存GQBエコシステムとの連携によるシナジー効果創出を計画しています。本施策により新規ユーザー獲得とGQBトークンの市場拡大を同時に実現し、既存ホルダー向け追加ベネフィットの提供も予定されています。

5月にはロック付きステーキング機能が正式リリースされ、トークンのユーティリティが大幅に拡張されました。この機能により、GQB保有者はより高いリターンを得られるだけでなく、QBローンチパッドへの優先参加権や限定リワードなど、多様なメリットを享受できるようになる予定です。

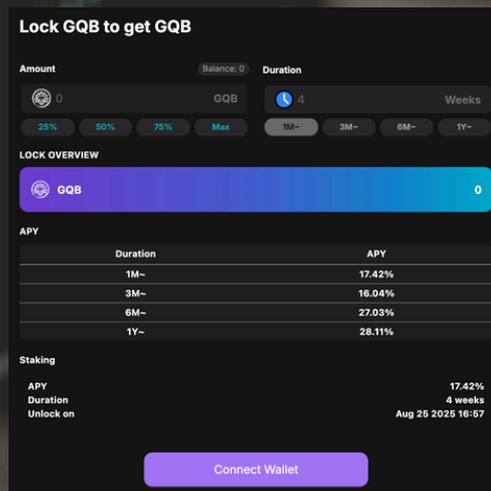
総ステーキング枚数は45,245,496枚を突破し、長期保有インセンティブが市場の信頼獲得に大きく寄与しています。マーケット状況に応じた複数の戦略を準備しており、プロジェクトを停止することなく継続的な価値創出に取り組んでまいります。

製品開発 サービス運営

GQBロック付きステーキング機能公開

5月13日、GuildQBは独自トークンGQBの新たな運用手段として「ロック付きステーキング」機能を正式リリースしました。この機能により、GQB保有者は以下のメリットを享受できます：

- より高いステーキングリターン
- QBローンチパッドへの優先参加権
- 限定リワードプログラムへのアクセス
- 長期保有インセンティブの提供



この機能はGQBトークンのユーティリティを大幅に向上させ、コミュニティメンバーにとってより魅力的な価値提案を実現しました。

ロック付き QB ステーキング 開始!!

\$GQBをロックしてして
より多くの特典を獲得!

<https://guildqb.com/>

 GuildQB

 GuildQB

製品開発 サービス運営

サービス運営状況

Q2期間中「QB Gold Rush」「QB Quest」などの既存サービスの運営を継続しました。特にQB Gold Rushにおいては、ユーザーエクスペリエンスの向上とゲームバランスの調整を実施しました。

しかし、現在QB Gold Rushにおいて「出金処理後のxGQBが消失する」という重大な不具合が確認されており、7月21日時点でサービスを一時停止しています。ユーザーの皆様のお資産をお守りするため、システム全体の精査および修正作業を実施しております。

進展があり次第、改めて公式よりお知らせいたします。ご不明点等がございましたらQB Discordまでお問い合わせください。

QB Launchpadについては6月のリリースを予定していましたが、市場の影響などを受けてローンチを延期しています。延期期間を活用してプロダクトの品質向上と追加機能の開発を進めており、他社を上回る競争力を持つプラットフォームとしてリリース予定です。



コミュニティ活動

週刊ラジオ番組

GuildQBは2025年Q2期間中、計12回（第17回～第28回）の週刊ラジオ番組を配信しました。各回では仮想通貨市場の最新動向、技術的な解説、業界分析などを提供し、コミュニティメンバーの知識向上に貢献しました。



主要なトピック：

- BTCの価格動向と市場分析
- ミームコインブームの分析
- DeFiプロトコルの最新動向
- Web3ゲーム業界の動向
- 規制環境の変化
- ベルリンブロックチェーンウィーク現地レポート

日付	イベント名
2025/04/03	仮想通貨週刊ラジオ 第17回
2025/04/10	仮想通貨週刊ラジオ 第18回
2025/04/18	仮想通貨週刊ラジオ 第19回
2025/04/25	仮想通貨週刊ラジオ 第20回
2025/04/30	仮想通貨週刊ラジオ 第21回【ゲスト】しずくさん
2025/05/15	仮想通貨週刊ラジオ 第23回
2025/05/21	仮想通貨週刊ラジオ 第24回
2025/05/29	仮想通貨週刊ラジオ 第25回
2025/06/04	仮想通貨週刊ラジオ 第26回
2025/06/18	仮想通貨週刊ラジオ 第27回
2025/06/25	仮想通貨週刊ラジオ 第28回

コミュニティ活動



月次ホルダーVC

毎月第2月曜日22時に如月NFTホルダー限定のVCを開催し、GuildQBの最新情報共有とコミュニティ交流を促進しました。

またホルダーVCでは毎回Giveawayを実施。ランダムに抽選で毎回数万円相当の景品が当たります。



日付	Giveaway内容
4月14日	<ul style="list-style-type: none"> 50,000GQB×3名様 GuildQBTシャツ×5名様
5月12日	<ul style="list-style-type: none"> \$TRUMP (7枚) ×3名様
6月16日	如月NFT×3名様

TikTokコンテンツ

GuildQBはTikTokプラットフォームにおいて、仮想通貨に関する教育コンテンツを継続的に配信しました。

特に5月5日の「イーロン・マスク氏が支持している仮想通貨銘柄」と5月11日の「1ビットコインが1億円を超える時期予測」は1万回以上の再生数を記録しました。



コミュニティ活動

コミュニティイベント

4月8日	セキュリティ講座「クレカの情報流出した時どうしたらいいの？」
4月23日	美容外科裏話～エステ業界の裏話
5月24日	「はたして仮想通貨クレカは日本で普及するのか？」
5月31日	第6回 GuildQB麻雀大会
6月27日	【GuildQB杯】ポケポケ大会（46名参加）

Giveaway&キャンペーン

特別キャンペーン



AI×DeFiプロトコル「GAIB」のFree Mint WLを15名様にプレゼント



BTCの歴史的な意義を祝い、如月NFTホルダー限定で5名様にピザのGiveawayを実施

定期エアドロップ



Q2期間中、GuildQBは以下の対象者に対して定期的なGQBエアドロップを実施しました：

- ・ 如月NFTホルダー
- ・ FINANCiE配布該当者

戦略的パートナーシップ・ グローバル展開

戦略的提携

Uzumaki House



Uzumaki

企業・組織

ecosystem support program

polygon

スポンサー

¥8M

個人

Hiro Shimo ConsensusBase

チケ男 TicketMe

KIMINORI JAPAN 東京大学博士課程

匿名希望

4月24日、GuildQBはリサーチハウス「Uzumaki House」のスポンサーとなりました。Uzumaki HouseはEthereumの重要な技術的課題（スケーラビリティ、セキュリティ、分散性）に取り組む日本の研究拠点です。

このスポンサーシップにより、GuildQBはWeb3領域における最先端の技術動向とリサーチ活動を支援し、自社のプロダクト開発にも活用できる知見を獲得しています。この技術的知見を活用し、Q3以降ではより革新的な機能開発を予定しており、競合他社との差別化を図ります。

イナズマ・キャピタル



GuildQB | INAZUMA CAPITAL

6月30日、GuildQBは暗号資産領域における投資・プロジェクト支援を手がけるイナズマ・キャピタルとの業務提携を発表しました。この提携により、両社はそれぞれの強みを活かしながら、以下の分野で共同取り組みを進めます：

- ・ ミームコインのユーティリティ向上
- ・ 流動性の強化
- ・ プロジェクト支援とインキュベーション
- ・ 市場拡大戦略の共同開発

この提携により、GuildQBの事業領域が拡大し、新規収益源の創出とユーザーベースの多様化が期待されます。

戦略的パートナーシップ・グローバル展開

ベルリンブロックチェーンウィーク参加

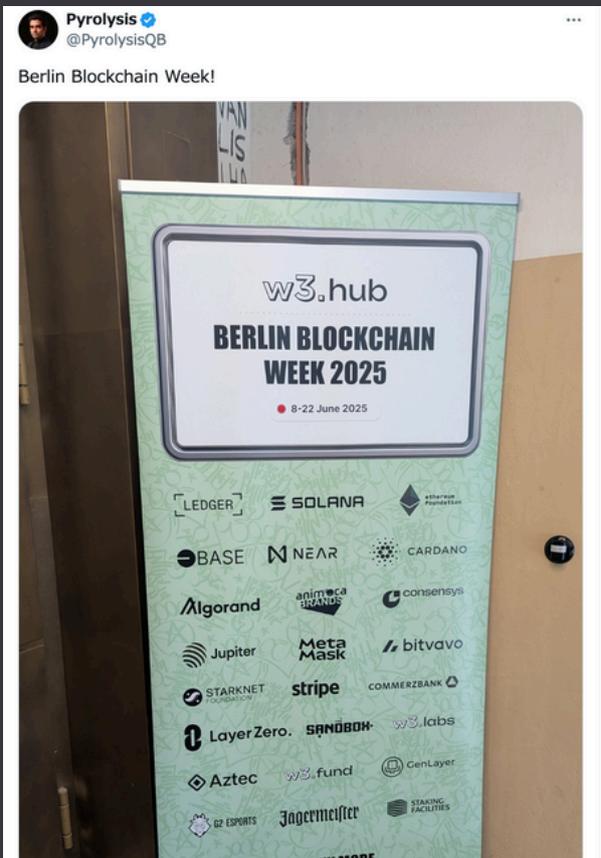
6月12日～19日、GuildQBのPyrolysisとFounder堀口がベルリンブロックチェーンウィークに参加しました。この参加により、ヨーロッパ市場の最新動向を直接把握し、グローバルな視点でのプロダクト戦略を再構築する貴重な機会を得ました。

現地で得た主要な知見：

- ヨーロッパにおけるWeb3の現在の「温度感」
- ヨーロッパ勢の注目テーマとトレンド
- 国際的なWeb3ゲーム開発の動向
- 規制環境の国際比較



この経験は6月18日の週刊ラジオ第27回で詳細にレポートされ、コミュニティメンバーと共有されました。今回得られた国際的なネットワークと知見を活用し、今後もグローバル展開を積極的に推進していく予定です。



THANK YOU



公式サイト：<https://guildqb.com>



X (旧Twitter)：<https://x.com/GuildQB>



Discord：<http://discord.gg/guildqb>



LINE：<https://lin.ee/By1nRhT>



お問い合わせ先：info@guildqb.com